

低圧進相コンデンサ

ニチコンの乾式低圧進相コンデンサは窒素ガスを充填し、SF₆ガスを全く使用しない新しいタイプのコンデンサで、地球環境に優しく、また万一の事故時や火災発生時に火災や類焼の心配の少ない難燃性を特長とした防災形のコンデンサです。特に多くの人が集まり防災が重要視される、受変電設備や、地下変電所などでのご利用をお奨めします。

200 V級防災形乾式低圧進相コンデンサ “GeoDRY®” オイルレス L = 6 %対応品

特 長

・地球環境にやさしいコンデンサです

排出抑制対象ガスの一つであるSF₆ガスに替え窒素ガスを充填した高性能、高品質品。火災に対する安全性が高く、鉛フリーはんだと脱塩化ビニルのエコ材料を使用した環境にやさしい設計です。

・高信頼性です

内部は自己回復性を有する蒸着電極方式を採用し、高い絶縁信頼性を有します。

・低損失です

誘電体に低損失のポリプロピレンフィルムを用いた省エネルギー形のコンデンサです。

・耐久性構造です

ケースは全溶接構造で、長期の耐用性・密閉性に優れた構造です。

・保護接点付です

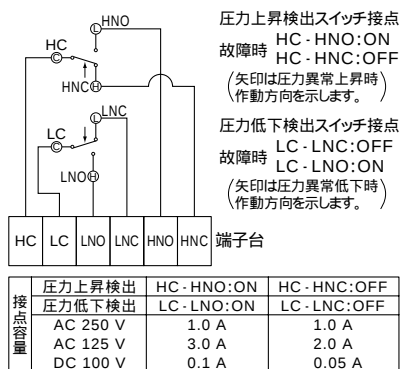
万一の内部故障発生時には、ガス圧の上昇を検知して動作する圧力上昇検出用保護接点(圧力上昇検出スイッチ)を装備しています。さらにこれにより電源から開放されなかった場合は、安全弁が動作してケース破裂を防止する安全性の高い製品です。また、万一のガス漏れなどによる圧力低下に対しては圧力低下検出用保護接点(圧力低下検出スイッチ)を設けて警報できるようにしております。



規格・性能

設 置 場 所	屋内用、標高2000 m以下
周 囲 温 度	- 25 ~ + 45 (24時間平均35 以下、1年間平均25 以下)
最高許容電圧	定格電圧の1.10倍(24時間のうち8時間以内) 定格電圧の1.15倍(24時間のうち30分以内) 定格電圧の1.20倍(5分以内) 定格電圧の1.30倍(1分以内) ただし、1.15倍を超える電圧の印加は、コンデンサの寿命を通じて200回を超えないものとする。
最大許容電流	定格電流の1.3倍、ただし静電容量の実測値が許容差の範囲内でプラス側のものは、その分だけ更に電流の増加を認める。
容 量 許 容 差	定格値に対して - 5 ~ + 15 % (三相の相間不平衡率108 %以下)
損 失 率	0.15 % 以下 (at 20)
放 電 特 性	端子開放後、その残留電圧を3分間に75 V以下にします。
塗 装 色	マンセル 5Y7 / 1色
保 護 装 置	圧力異常検出スイッチ、安全弁付き
準 拠 規 格	JIS C 4901(2000)

圧力異常検出スイッチ接点



圧力上昇検出スイッチの接点は、遮断器・開閉器の引き外し回路へ必ず接続してご使用ください。

ご注意

- ・万一のガス漏れを検知するため、圧力低下検出スイッチの接点は遮断器・開閉器の引き外し回路、または警報回路へ接続してご使用ください。
- ・接点はNO(常時開路)・NC(常時閉路)のいずれも使用できます。また、圧力異常検出スイッチの端子は上図のように端子台に接続していますので、端子台より制御線を引き出してください。圧力スイッチ破損の原因となりますので、保護箱は取り外さないでください。

防災形乾式低圧進相コンデンサ “GeoDRY®” オイルレス L = 6 % 対応品 200 V 級 10 ~ 50kvar

寸法図

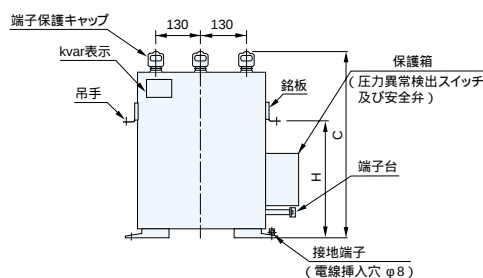
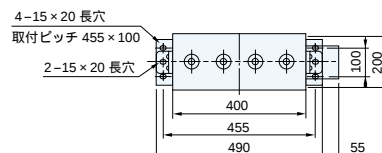
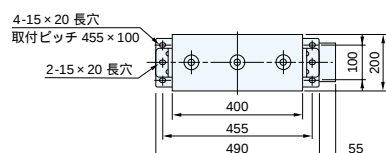


図 1

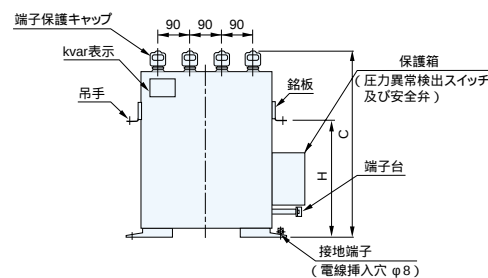
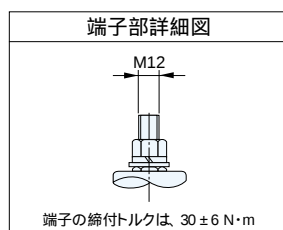


図 2



端子の締付トルクは、 $30 \pm 6 \text{ N} \cdot \text{m}$

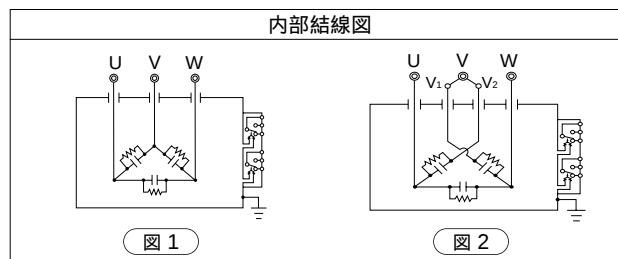


図 1

図 2

出荷時、V₁、V₂端子は専用の銅板で仮接続しています。従って、ご使用の際は必ずこの銅板でV₁、V₂端子を接続し、V相としてご使用ください。

定格寸法表

L = 6 % 対応品 三相 屋内専用 放電抵抗内蔵 圧力異常検出用保護接点(圧力スイッチ)・安全弁付き

回路電圧 (V)	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格設備容量 (kvar)	定格容量		品 番	定格電流 (A)	寸 法 (mm)		質 量 (kg)	図
				kvar	μF			C	H		
220	234	50 / 60	10 / 12	10.6 / 12.8	618	BF231120KC4	26.2 / 31.5	435	295	28	1
			15 / 18	16.0 / 19.1	927	BF231190KC4	39.4 / 47.2				
			20 / 24	21.3 / 25.5	1236	BF231250KC4	52.5 / 63.0				
			25 / 30	26.6 / 31.9	1546	BF231310KC4	65.6 / 78.7				
			30 / 36	31.9 / 38.3	1855	BF231380KC4	78.7 / 94.5				
		50	50	53.2	3091	BF231530KA4	131	565	325	36	2
		60			2576	BF231530KB4					

(注) 1. 本コンデンサを設置される場合は突入電流抑制のため直列リアクトルを必ずご使用ください。

2. 集合にてご使用になる場合は温度上昇を考慮してコンデンサ相互の間隔を80 mm以上離してください。

3. 端子部に力がかからないよう結線は、フレキシブルな電線を使用してください。(銅バー等による直接接続は行わないでください。)

4. 回路電圧200 V品についても製作しますのでご用命ください。

5. 定格設備容量とは、コンデンサと直列リアクトルを組み合わせた設備の、定格電圧及び定格周波数における設計無効電力を示します。(ただし、定格設備容量は銘板には表示しません。)

6. 本製品は、下図の通り取り付けてください。

